

れいわ ねん がつ にちはっこう だい ごう
令和6年1月15日発行 第9号



渋谷の荘だより

いま い みらい にな しぶちゅうせい
「今を生き 未来を担え 渋谷中生」

やまとしりつしぶやちゅうがっこう
大和市立渋谷中学校



新年明けましておめでとうございます。いよいよ、3学期がスタートしました。生徒たちが新たな目標を掲げて笑顔で前進できるように渋谷中学校教職員が一丸となって支えていきたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

しぎょうしき こうちょう こうわ 始業式 校長講話

こうちょう しみず たかし
校長 清水 恭



はじめに、能登半島地震で被災された方々に対し、1分間の黙とうを捧げます。

皆さんおはようございます。大変心配なことが起きてしまった年明けでした。この中には、能登の方面に親類や知人がいて今も心配しているという人もいます。もしかすると、元日に現地で怖い思いをしたという人もいるかもしれません。心配なことがあったら担任の先生や学年の先生に話してください。



今朝、3年生の生徒に13年前の東日本大震災の記憶があるか聞いてみました。まだ2歳だったのでほとんど記憶に残っていないとのことでした。あの震災が起きた時に、今後30年以内に首都直下型の地震が起こる確率が70%と言われました。それから13年が経過しています。今この瞬間に首都直下型の地震が起きてもおかしくない状況だと考えられます。残念ながら我々には自然災害を止めることはできません。しかし、備えることはできます。今地震が発生したら自分の身をどう守るかという心構えをすること。非常時に持ち出す荷物を準備しておくこと。また、交通や通信が機能しなくなることを想定される中で、家族との連絡をどう取り合い、どこで会うのか。そういった備えをこの機会に改めてしっかりとしておく必要があると思います。私も、学校で皆さんの命をどう守るのか改めて考える機会になりました。

すこし難しい話をはじめにしましたが、2024年はスタートしました。2学期の終わりに1年間を振り返って自分をたくさんほめてほしいということとを伝えましたが、今年の年末に自分を振り返ったときにもたくさんほめてあげられるように、毎日を大切に過ごしてください。なりたい自分に一步步近づきながら、自分らしくのびのびと過ごしていきましょう。



えんそく や いもこうりゅうかい とくべつしえんきゅうしゅにん さかもと けい
「遠足と焼き芋交流会」 特別支援級主任 坂本 啓

昨年、11月24日に渋谷中支援級では遠足に行きました。場所は新江ノ島水族館です。

当日は天候にも恵まれ、渋谷中学校から徒歩で高座渋谷駅まで行き、小田急線を利用し目的地まで行きました。公共交通機関を利用することが目的の1つであった為、みんなで電車に乗ることにしました。

普段の学校生活ではなかなか味わえない、仲間との電車移動で緊張感を持って乗車しました。無事、目的地に着くと、まずはイルカショーを目指しました。みんな楽しく観覧することができました。

イルカショーの後は、お弁当の時間まで館内の見学をしました。ペンギンやクラゲ、様々な海の生き物を見て、楽しんでいました。

お弁当の時間になると、みんなで館内のテラスでお弁当を食べました。お弁当の時間の後には買い物学習をしました。設定した金額の中で、お土産を買ったり、アイスクリームを買ったりとそれぞれ事前に考えたものを買いました。

楽しい時間もあっという間に過ぎ、帰宅の時間となり、また電車を利用し、高座渋谷駅に戻りました。こうして、渋谷中学校特別支援級の秋の遠足は無事実施することができました。



昨年、12月21日に支援級では毎年恒例の焼き芋交流会を実施しました。焼き芋交流会とは支援級の畑で苦労して作ったサツマイモをみんなで調理して食べる行事です。サツマイモを洗い、濡らしたキッチンペーパーで芋を包み、その後アルミホイルで芋を巻く作業をしたり、焚き火で使う木材を整頓したりしました。焚き火は主に職員で行います。芋が焼けるとみんなで「いただきます」をして食べました。みな笑顔でホクホクのサツマイモを食べることができました。

